

財団法人仙台国際交流協会

事業名	留学生との協働による防災啓発事業			
実施期間	平成24年6月から平成25年1月まで			
場 所	仙台国際センター、仙台市立三条中学校、仙台市立片平丁小学校 他			
参加者	外国人留学生	地域住民・企業等	その他	合計
	125 名	89 名	43 名	257 名

＜実施内容＞

11月23日(金曜日・祝日)に片平丁小学校(仙台市青葉区)で防災訓練をおこないました。

この防災訓練は、片平地区合同防災訓練 実行委員会が企画・運営をしました。実行委員会には、「片平地区まちづくり会」をはじめとする地域住民の団体のほかに、留学生グループをはじめとする外国人住民が参加したのが特徴です。

訓練では、次のことをおこないました。

1. HUG(はぐ、避難所運営ゲーム)
 2. 防災訓練(プライベートルームなどの組み立て訓練など)
 3. 炊き出し準備訓練とふりかえり交流会
- HUG(避難所運営ゲーム)とは、避難所の運営についてみんなで考えるためのゲームです。参加者たちは、災害時要援護者への配慮などについて話し合いながら真剣にHUGを行いました。



片平地区合同防災訓練におけるHUG
(はぐ、避難所運営ゲーム)の様子

HUGの後は、実践的な訓練と炊き出し準備訓練をおこないました。消防署の説明を受けながら、プライベートルームの組み立てなどをおこないました。

また、地域住民や外国人住民グループは炊き出し(避難所で配られる食べもの)の準備をおこないました。

最後に、地域住民や外国人住民が準備した炊き出しを食べながら、参加者どうしで訓練のふりかえりをしました。

外国人市民の参加者からは、HUGがとても勉強になったという感想や、日本人市民が外国人市民のことを考えて訓練を開催したことへの感謝が多く聞かれました。

また、日本人市民からも、外国人市民が地域の住民として訓練に参加し、交流できたことが良かったという感想が聞かれました。

また、炊き出しがとてもおいしかったという感想がたくさん参加者からありました。



片平地区合同防災訓練における炊き出しの様子

財団法人仙台国際交流協会(SIRA、さいら)では、地震について知識や経験のない外国人住民のために、地震(津波を含む)に対する備えや、地震が発生した際の対応について伝えるための映像を制作しました。撮影にあたっては、留学生にも出演していただき、留学生との協働により制作をしました。映像は仙台市に住む外国人住民だけではなく、多くの人たちにってもらえるように、インターネットでも公開します。



外国人向け地震防災ビデオの撮影の様子

アサノワ・グリザルさん(キルギス)/Asanova Gulzar-san(Kyrgyzstan)

HUGはとてもかんどうしました。考えさせられて、日本人といけんこうかんしながらやっていました。私のようなさいがいの少ない国からきた人のためにいい勉強になったのではないかと思います。

オリギルさん(中国内モンゴル自治区)/Orgil-san(Inner Mongolia, China)

ビデオの収録は役立ちました。例えば非常用持ち出し袋を準備しなくてはならないことを知りました。